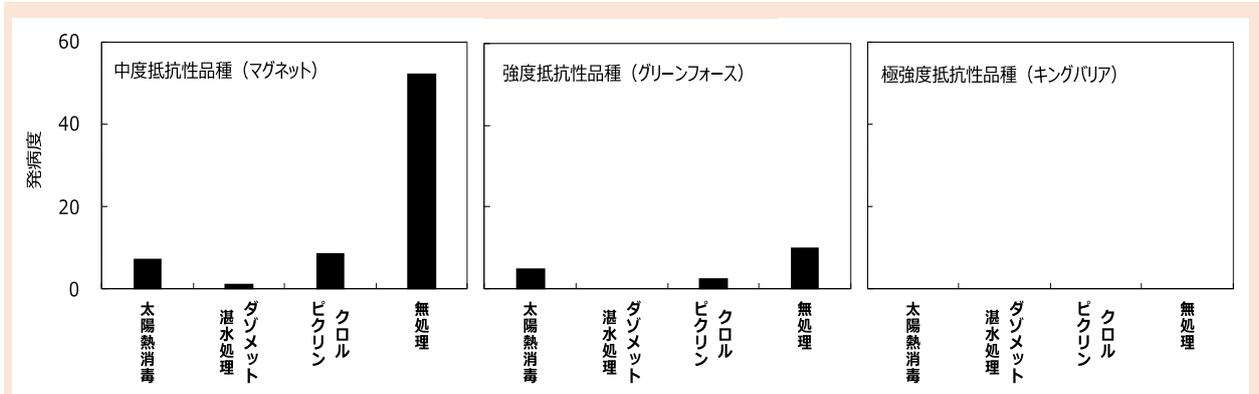


## 抵抗性台木および土壌消毒併用によるトマト青枯病に対する防除効果

利用対象：トマト生産者、指導者

トマト青枯病に強度抵抗性を示す台木品種と定植前の土壌消毒を併用することで、発病歴のある圃場においても高い発病抑制効果が期待できます。



抵抗性程度の異なる台木品種および各種土壌消毒の併用によるトマト青枯病発病抑制効果 (研究所内青枯病汚染圃場における試験：定植51日後における各区の発病率)

- 強度抵抗性台木品種 (例：がんばる根フォルテ、キングバリア) と土壌消毒を併用することで発病リスクが高い圃場でも高い発病抑制効果が期待できます。
- 抵抗性程度が低い品種では、土壌消毒と併用した場合でも発病抑制効果が不十分です。

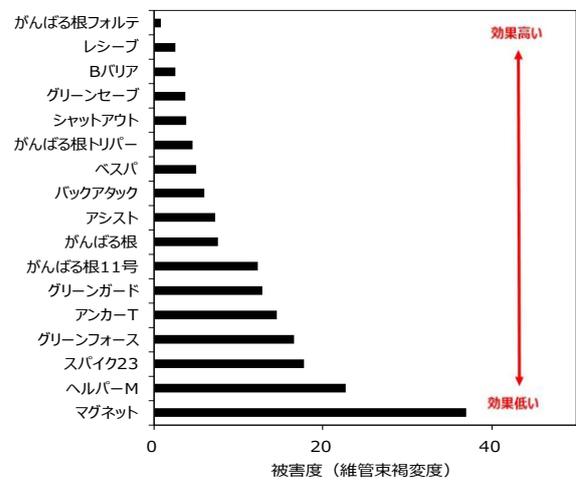
### 土壌消毒による土壌中の青枯病菌密度低減効果

| 試験区  | 青枯菌密度 (cfu/g) |               |
|------|---------------|---------------|
|      | 消毒前           | 消毒後           |
| 土壌消毒 | 太陽熱消毒         | >2,400 → <3.0 |
|      | クロルピクリン       | 1,100 → <3.0  |
|      | ダゾメット 湛水処理    | >2,400 → <3.0 |
|      | 定植前           |               |
| 無処理  | 1,100         | -             |

※土壌30~60cmの土壌を採取し、MPN-PCR法により青枯病菌密度を推定

- 高温期にしっかりと土壌消毒を行うことにより、土壌中の青枯病菌密度を低減することができます。

### 台木品種の青枯病抵抗性評価



- 青枯病抵抗性は、品種により大きく異なります。圃場の青枯病発病リスクに合わせて台木品種を選択しましょう。

### 留意点

- ダゾメット粉粒剤は、湛水無しで処理を行うと、湛水処理に比べ効果が劣る傾向が認められます。
- 本試験の結果は、土壌伝染に対する効果を示したものであり、穂木に対する二次伝染への効果は期待できません。収穫機械、器具の洗浄、殺菌等についても心がけるようにしてください。

|         |   |
|---------|---|
| お問い合わせ先 | 基盤技術研究室農産物安全安心研究課 川上拓 電話 0598-42-6360<br>中央農業改良普及センター 中村元彦 電話 0598-42-6323  |
| 参考になる資料 | 関西病虫害研究会報 (2021) 63 : 103-107<br><a href="https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm">https://www.pref.mie.lg.jp/nougi/hp/74882027005.htm</a> (農研HP) |